



やまぎし みるみ 議員
山岸はる美 議員

問 警報発令された場合に職員の増員を
答 通常、最低でも2人以上で対応

議員 ①休日・夜間等の勤務時間外に大雨警報が発令された場合、総務企画課の体制をさらに増員する考えは。

②避難が必要な場合の要援護者の誘導のあり方は。

町長 ①以前は総務企画課1人での対応を、最低でも2人以上に増員したところです。

②町では、災害発生時における高齢者や心身障がい者などを対象とした「災害時要援護者リスト」の整備を進めています。避難勧告・指示が出された場合、関係者がリストの情報を共有して、安否確認や避難行動支援に当たります。

また、避難所が設置された場合の要援護者救助には、車いすや身体障がい者用トイレの設置のほか、保健師等を派遣するなど、心身両面の健康管理を行な

うことにしています。

問 葛巻病院の建築はいつごろの予定か

葛巻病院は昭和48年3月の建築で耐震性が危惧され、さらには住民の健康と生命を守る施設であり、早期の建築が望まれるがいつごろの予定か。

また、ほかの医療機関で多剤耐性菌等の院内感染が発生しているが、事態に備えてのマニキュアルづくりや対処方法は。

答 可能な限り早期の実現を目指したい

現在の病院施設は築後37年経過しており、鉄筋コンクリート造である当施設の耐用年数は39年で、総合的な改修が迫られつつあると考えています。なお、新築する場合には医療

需要や財政的な負担等総合的な検討とともに優良事例の研究も進めながら、可能な限り早期の実現を目指す考えです。

また、院内感染防止対策として、マニキュアルの作成、院内感染予防対策委員会での確認や研修会を実施。さらには、うがい励行やマスク着用の徹底、来訪者には消毒薬を設置して予防に努めています。

問 TPP参加の意向
当町に対する影響

政府は環太平洋戦略的経済連携協定(注)、いわゆるTPP参加を表明しましたが、当町への影響は。

また、サルモネラワクチン接種費用1頭につき10000円に對して1000円の助成額の上積みへの考えは。

答 地域農業を守るため
国へ鋭意働きかけ

米と牛乳については壊滅的な影響を受けることは確実な状況であり、今後もTPP不参加について国に働きかけていきます。また、サルモネラ症が発生した場合、酪農経営への打撃は大きく、重点課題として取り組んでいきます。

(注) 環太平洋戦略的経済連携協定：TPP

平成18年にニュージーランド、シンガポール、チリ、ブルネイの4カ国が発効させた貿易自由化を目指す経済的枠組み。工業製品や農産物、金融サービスなど加盟国間で取引される全品目の関税を原則的に100%撤廃しようとするもので、27年度をめどに関税全廃の実現に向けた協議を行なっています。

昨年11月現在で、アメリカ、オーストラリア、ペルー、ベトナム、マレーシアの5カ国が参加。次いで、コロンビアやカナダも参加の意向を表明しています。



老朽化が進み改築が望まれる葛巻病院

議員 ①「公共施設等整備基金条例」が21年4月1日に施行され、その積立額は21年度が3億5000万円、22年度当初予算で1億円、補正予算で1億円を追加し、年度末で5億5000万円になるが、今後、どれだけ

積み立てを行なうのか。
②町の公共施設の中で、特に老朽化が著しい病院と老人ホームは大きな課題であり、施設整備の基本方針を示すべきでは。
町長 ①昭和40年代から50年代に建設された公共施設が多数あり、新設や老朽施設の改築・改修などの財源として積み立てを行なっているもので、可能な時期に可能な範囲で財源を確保しようとするものです。いつまでいくらというような金額の設定はしていません。
②現時点では、施設を特定するような構想はありません。
総合計画や過疎地域自立促進計画に位置づけ、各事業の緊急性や優先度を慎重に判断し、財政状況を十分に見極めた上で、実施可能な時期に整備を行なっていくと考えています。

年齢別幼児数

年齢	幼児数
5歳児	40人
4歳児	40人
3歳児	32人
2歳児	32人
1歳児	29人
0歳児	26人
22年度出生見込数	43人

現在の入園状況は右表のとおりで、葛巻幼稚園は閉園までの暫定運営となっています。また、保育所については葛巻保育園を中心に、ほかの3園を分園として一体的な管理運営を検討します。児童館については、今後もほぼ同数の入所者が見込まれることから、当面運営を継続します。



すずき みつる 議員
鈴木 満 議員

問 公共施設等整備基金の積立額と整備の構想は
答 金額設定はなく現時点での整備時期は未定

積み立てを行なうのか。

②町の公共施設の中で、特に老朽化が著しい病院と老人ホームは大きな課題であり、施設整備の基本方針を示すべきでは。

町長 ①昭和40年代から50年代に建設された公共施設が多数あり、新設や老朽施設の改築・改修などの財源として積み立てを行なっているもので、可能な時期に可能な範囲で財源を確保しようとするものです。いつまでいくらというような金額の設定はしていません。

②現時点では、施設を特定するような構想はありません。
総合計画や過疎地域自立促進計画に位置づけ、各事業の緊急性や優先度を慎重に判断し、財政状況を十分に見極めた上で、実施可能な時期に整備を行なっていくと考えています。

問 保育所・児童館の
今後の入園見通し

本町の出生数の状況は。また、保育園、幼稚園、児童館の入園状況と今後の見通しは。

答 保育園は一体的に
児童館は運営継続

本町の出生数は、年齢別に転入・転出を考慮した幼児数で見ると、22年5月末現在で左表のとおりです。

各保育所及び幼稚園等の入園状況

施設名	定員数等	入園者数
葛巻保育園	85人	92人
五日市保育園	30人	18人
江刈保育園	20人	14人
小屋瀬保育園	20人	10人
葛巻幼稚園	暫定運営	4人
吉ヶ沢児童館	5人以上	8人
冬部児童館	5人以上	9人

現在の入園状況は右表のとおりで、葛巻幼稚園は閉園までの暫定運営となっています。また、保育所については葛巻保育園を中心に、ほかの3園を分園として一体的な管理運営を検討します。

児童館については、今後もほぼ同数の入所者が見込まれることから、当面運営を継続します。